



# こどものまちミニカワサキ



2025

ほうこくしよ



## もくじ

- |   |                              |    |                          |
|---|------------------------------|----|--------------------------|
| 3 | こどものまちって？                    | 11 | こども会議                    |
| 4 | こどもまちのここがすごい！                | 13 | なつやすみワークショップ             |
| 5 | ミニカワサキって？                    | 15 | これがミニカワサキ2025だ！          |
| 6 | ミニカワサキの開催実績<br>ミニカワサキスタッフの構成 | 19 | ミニカワサキ2025のチャレンジ         |
| 7 | ミニカワサキ1年の流れ                  | 21 | ミニカワサキ2025をふりかえる～アンケート結果 |
| 9 | 運営会議                         | 23 | 広報・登壇・その他の活動記録           |
|   |                              | 24 | ミニカワサキのこれから              |
|   |                              | 26 | Special Thanks           |



わたしたちは川崎市内で2018年から「こどものまちミニカワサキ」を開催してきました。きっかけは、横浜市都筑区で開催されていた「ミニヨコハマシティ」を見学に行ったおとなが、「おとな口出し禁止のこどもだけのまち！」というコンセプトにワクワクし、川崎市でもやってみよう！！と思った、全てはそこからでした。

コロナ禍で、イベントとしての「こどものまち」を開催できなくなった2020年、2021年をきっかけに、**子ども達が運営に関わるようになってきました**。おとなが「やってみよう！！」ではじめたこのプログラムは、年1回イベントとしての「こどものまち」を開催するだけではなく、**年間を通して「まちづくり」や「働くということ」を考えるコミュニティ**になっていきました。

初年度から参加している子ども達が高校生になり、できることの幅が広がっている一方で、「こども」でいられる時間も少なくなってきた2025年。8年目の「こどものまちミニカワサキ2025」は夢だった川崎市役所での開催が実現！どんなまちになったのか！？記録にまとめました。

# こどものまちって？

「こどものまち」とは40年以上前にドイツミュンヘンで始まった「ミニミュンヘン」に端を発しています。**未成年の子ども達が、こどもだけで「小さな仮想都市」をつくる（1日または数日間にわたる）イベント及びその準備のためのプログラム**のことを指します。

このプログラムは、ドイツ国内にとどまらず、世界各地で様々な形に派生しながら広がっています。日本は、本国ドイツに次いで「こどもがつくるまち」が普及した国のひとつで、これまでに200カ所以上の開催事例があります。



## こどものまちの基本のしくみ

子ども達が「市民」として登録され、職業体験としてまちの中で「仕事（生産）」をして、独自の地域通貨を得ます。**稼いだ通貨をまちの中で「使う（消費する）」**ことで、経済と社会の仕組みをまなぶのが基本のしくみです。コミュニティをつくりだす仕掛け、安全安心を維持するためのルール、小さな経済をまわすためのくふうなど、子ども達の想いが込められたまちの文化があります。この「こどものまち」を創り出すすべてのプロセスに、当事者である子ども達自身が主体的に関わっています。参加する子ども達の「やってみよう」ことでまちがつくられるので、毎年まったく違うまちがつくられていきます。

事前の準備活動でつくられるものがほとんどですが、参加者として**当日現地で起業することもできます**。数時間、数日間開催する間に、商品がなくなって閉店したり、遊びたくなって廃業したり、ほかのお店と合併することもあります。**現実の「まち」とおなじような社会が広がります**。

### 事前準備



#### こども会議

まちのスタッフとして活動する子の会議。  
当日の2~3ヶ月前から集まり、どんなまちにするか？話しあいをかさねる。

### こどものまち当日



**市民登録**  
市民証をもらう



**学校**  
まちのルールをまなぶ



**ぎんこう**  
給料をつけとる  
税金もはらう



**JOBセンター**  
仕事をさがす

# こどものまちのここがすごい！

いま、「こどものまち」が注目され、国内でも開催事例が増えています。主催者の想いによって、大事にしているポイントは違いますが、様々な効果が評価されています。

## ● 教育・社会参画

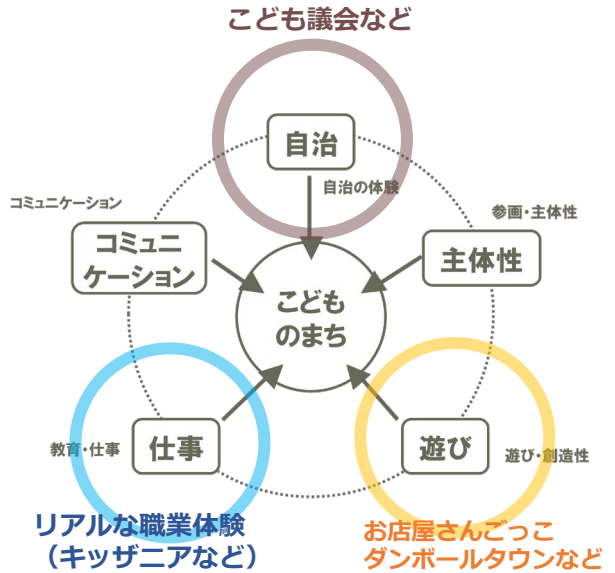
単なる遊びではなく、**自治の体験・子どもの社会参画（シチズンシップ教育）**、子ども同士やおとなとの共同作業をすることによる**コミュニケーション力や問題解決能力の向上**、子どもだけで考えることによる**主体意識の向上**などの効果が評価されています。

## ● 都市計画へのフィードバック

子ども達が「小さな仮想都市」を体験する中で感じた改善点は、実際の都市環境改善に繋がられます。子どもの視点が具体的なまちづくりに活かされる事例が確実に出てきています。

## ● すべてが「あそび」でできている！

これらはすべて「あそび」です。失敗したらやり直せばいい。やめなくなったらやめたいいい。楽しかったらずっとやってもいい。おとなが口出ししない空間の中で、思う存分没頭していい。それが「こどものまち」の魅力です。



図：こどもがまちをつくる―「遊びの都市(まち)-ミニ・ミュンヘン」からのひろがり／木下 勇, みえ けんぞう, 卯月 盛夫 著、萌文社、2010年にミニカワサキ実行委員会が追記。



### さまざまなお店

モノを売る店、ゲームやバスなどのサービス、カフェなども



### ものづくり

工房、ワークショップ



こどものまち  
エリアには  
おとなは  
立ち入り禁止



### 公共のしごと

清掃、警察、病院、案内など



### とうひょう

市民には投票権がある！



### おとなガイドツアー

子どもだけしか入れないエリアに入るガイド付きツアー

# ミニカワサキって？

ミニカワサキは、2018年3月に横浜市都筑区で開催されていた「ミニニコハマシティ2018」を見学に行ったおとなが川崎市でもやってみたい！と考えたのがきっかけです。初年度はミニニコハマシティを運営する子ども達に立ち上げ支援をしてもらいました。

おとな発案ではじまったミニカワサキでしたが、初年度に参加した子ども達が、「子どもだけで運営する、おとな口出し禁止のまち」というコンセプトにハマりました。子ども達の熱意で継続する活動の入り口に立つことになりました。

2019年は、9月10日に台風が重なり、川崎市の近隣でも被害がでました。中止になった他の地域の「こどものまち」もありました。イベントとしての「こどものまち」である限りは、天候によって中止もあり得る。中止になって、準備の間にワクワクしたアイデアも、なにもかもなかったことになるのはもったいない。まちづくりを考え続けるプログラムになっていくのがいいのではないかと考えはじめます。

2019年の開催を終える頃には、「準備段階から参加したい」という子ども達がでてきました。企画全体の運営、仕組みづくり、広報宣伝、渉外など、なにをやるのか、どうやるのかから、おとなと子どもと一緒に話し合い、同等の決定権を持つ「運営会議」をつくらう！という動きに繋がっていきました。

そんな矢先の2020年春、新型コロナウイルス感染症拡大。本当に「こどものまち」の開催自体ができなくなってしまったのです。でも、子ども達は自然に活動を止めず、「今年できないなら来年の準備をいまからはじめよう！」と、様々な形で活動をしはじめました。

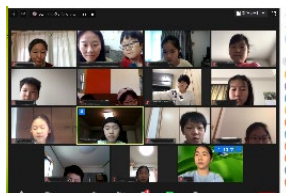
年々、イベントとしての認知度が上がり、開催規模も大きくなってきましたが、「子どもだけで運営する、おとな口出し禁止のまち」のコンセプトを変えず、子どもだけで運営ができるよう、様々な試行錯誤を繰り返しています。年1回の「こどものまち」の開催を行うだけでなく、年間を通して「まちづくり」や「働くということ」を考えるコミュニティになっています。



2018年第1回こどものまちミニカワサキ  
川崎市民プラザ（高津区）



2019年第2回こどものまちミニカワサキ  
川崎市国際交流センター（中原区）



2020年、2021年はコロナ禍で「こどものまち」の会場開催を断念。オンラインショップやマイクラフトでのまちづくりなど、子ども達のアイデアで活動の幅が爆発的に広がりました



2021～24年、公共の公園で開催。天候に左右される難しさを感じながらも、公園という空間の可能性を存分にたのしみました。橋公園（高津区）

# こどものまちミニカワサキ開催実績

日時・会場	特徴	来場者	こどもスタッフ数	大人スタッフ数
<b>2018年</b> 10/7 (日) ~8 (月・祝) 川崎市民プラザ (高津区)	初開催。川崎市長 (本物!) とミニカワサキ市長との対談が実現	1日目150名 2日目200名	こどもまちづくりクラブ30名	大人実行委員18名
<b>2019年</b> 11/16 (土) ~17 (日) 国際交流センター (中原区)	こどもまちづくりクラブに想定の倍以上の応募があり、選考に。初の屋外開催	1日目116名 2日目160名	こどもまちづくりクラブ50名	大人実行委員29名
<b>2020年</b> 11/21 (土) ~12/6 (日) オンライン開催	オンラインショップ、マイクロワールド配信、新聞の発行などを実施	期間中オンラインショップアクセス数 5,378回	こども運営18名	大人運営9名
<b>2021年</b> 10/17 (日) ~11/10 (水) オンライン開催	子どもの権利条約フォーラム2021inかわさきにこども代表が登場	期間中オンラインショップアクセス数 5,228回	こども運営10名、こどもまちづくりクラブ15名	大人運営7名
<b>2022年</b> 10/9 (日) ~10 (月・祝) 橘公園 (高津区)	直前までコロナ感染拡大が続く、時間制、事前予約制で実施。公共の公園で初実施	1日目263名 2日目180名	こども運営8名、こどもまちづくりクラブ37名	大人運営7名、当日ボランティア15名
<b>2023年</b> 10/8 (日) ~9 (月・祝) 橘公園 (高津区)	これまで最大規模で開催。保護者が楽しめるエリアなどを新設。※2日目は雨天中止	1日目289名 2日中止	こども運営11名、こどもまちづくりクラブ35名	大人運営6名、サポーター6名、当日ボランティア20名
<b>2024年</b> 10/12 (土) ~14 (月・祝) 橘公園 (高津区)	3日間開催。こどもエリアの広さを3倍に。おとなエリアを新設。	1日目 69名 2日目 332名 3日目 268名	こども運営16名、こどもまちづくりクラブ24名	おとな運営6名、サポーター9名、当日ボランティア約20名
<b>2025年</b> 10/11 (土) ~12 (日) 川崎市役所 (川崎区)	夢の川崎市役所開催が実現! みどりの共創コミュニティmidori-baとの共同開催で実施。	1日目 166名 2日目 250名	こども運営15名、こどもまちづくりクラブ17名	おとな運営6名、サポーター11名、当日ボランティア約20名

## ミニカワサキスタッフの構成

ミニカワサキ全体を支える  
**運営メンバー**

年間を通して**全体の運営や仕組み**を考えます。おとなと、こども両方で構成されています。

こども運営メンバーになるためには、前年度までに「こどもまちづくりクラブメンバー」として活動した経験が必要です。子ども達の成長モデルにもなってきました。2018年の第1回目から継続参加している子達もいます。

ミニカワサキ当日を盛り上げる!

**こどもまちづくりクラブ**

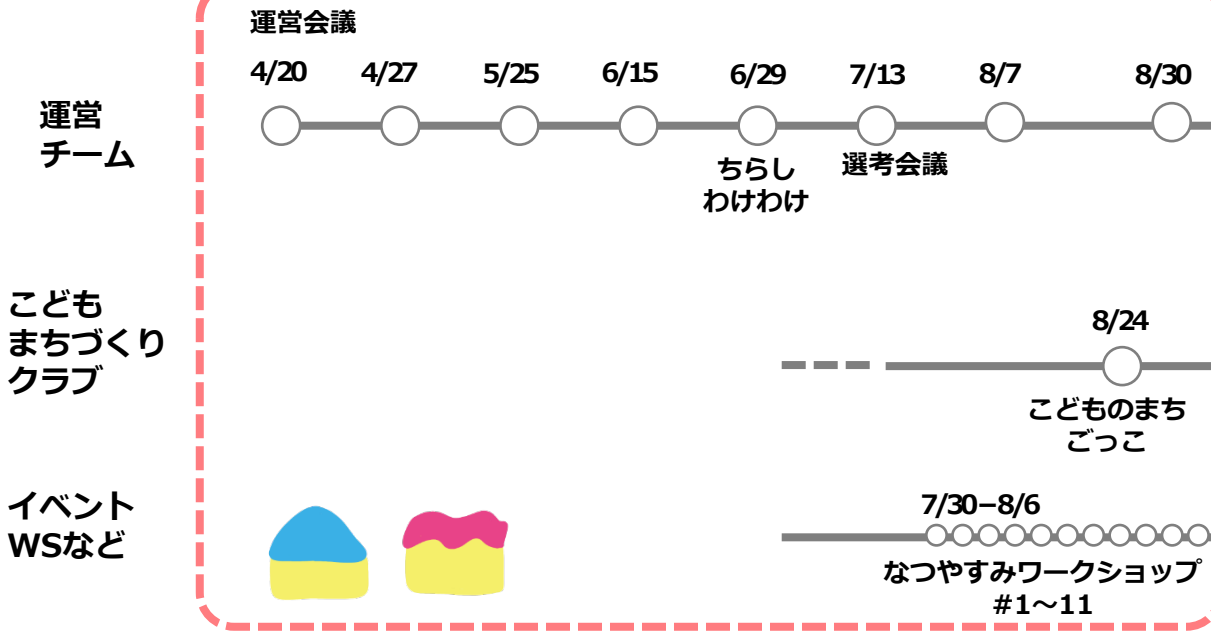
ミニカワサキ当日にまちのスタッフとして活動します。川崎市内の小中学生から公募。**事前にこどものまちのしくみ、まちづくりについて勉強**します。

ミニカワサキをサポートするボランティア  
**ミニカワサポーター**

ミニカワサキ準備や当日、子ども達をサポートする**若手社会人・大学生・中高生**。ボランティア希望も増えています。中高生は、こどものまちであそぶこともできる年齢層でもありながら、「あそぶ」より「スタッフ」として参加したいニーズもあります。

# ミニカワサキ☆1年の流れ

## 準備期間



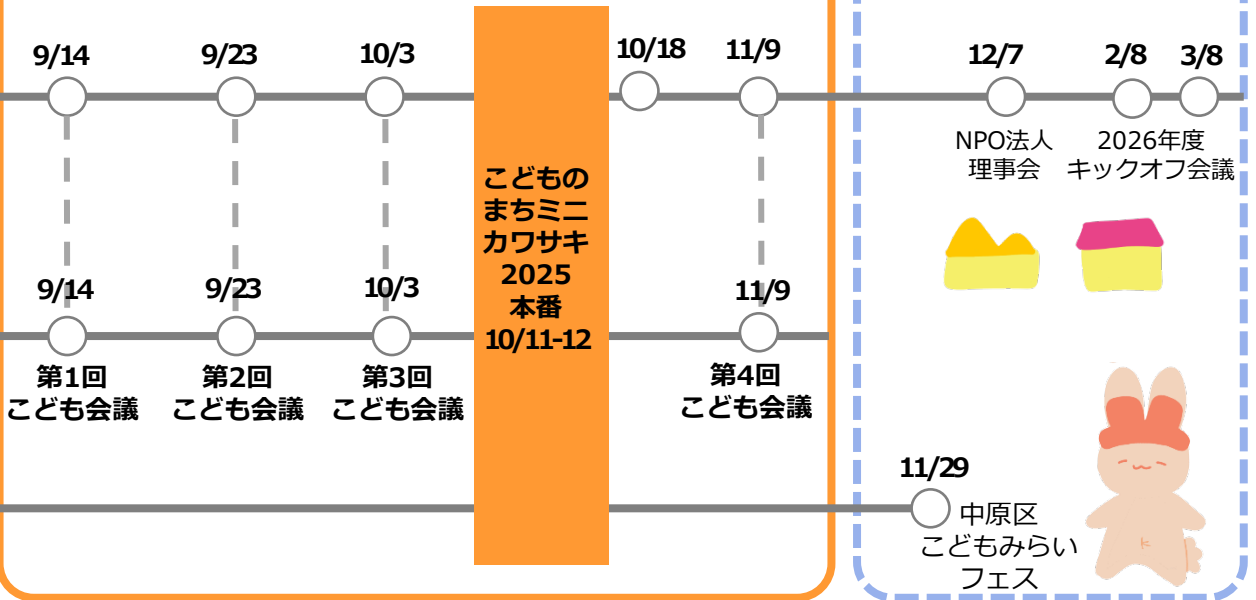
2025	3/1 2025 Kickoff	3/10 科研局 Fラン	3/20 ミニ150分 ちらしわけ	2025年ミニの開運 Wtgの13.13
3				
4	4/8 ミニ150分 Fラン	4/15 ミニ150分 Fラン	4/20 2025 総会!	4/22 Amazon Fラン
5	5/7 日曜大工 Fラン	5/8 NPO Fラン	5/11 新築 Fラン	5/17 ちらしわけ Fラン
6	6/9 11期 企画	6/8 企画 Wtg	6/10 企画 Wtg	6/16 企画 Wtg
7	7/2 企画 Wtg	7/3 企画 Wtg	7/6 企画 Wtg	7/13 企画 Wtg
8	8/3 企画 Wtg	8/4 企画 Wtg	8/6 企画 Wtg	8/13 企画 Wtg
9	9/2 企画 Wtg	9/9 企画 Wtg	9/16 企画 Wtg	9/23 企画 Wtg
10	10/1 企画 Wtg	10/8 企画 Wtg	10/15 企画 Wtg	10/22 企画 Wtg
11	11/1 企画 Wtg	11/8 企画 Wtg	11/15 企画 Wtg	11/22 企画 Wtg

ほかにもこんなに  
いろいろカイギや  
準備をやってるん  
だなー!



## ミニカワオンシーズン

## 翌年向けの作戦シーズン



## ミニカワサキ2025の運営体制

ミニカワサキ全体を支える  
**運営メンバー**

おとな **6** 人、子ども **15** 人

2025年度は小学4年生～高校2年生。  
(構成：高校生5名、中学生5名、小学生5名)

ミニカワサキ当日を盛り上げる！  
**こどもまちづくりクラブ**

**17** 人

2025年度参加者は小学2年生～6年生。  
6月にチラシやSNSを使って川崎市内で公募。

ミニカワサキをサポートする  
ボランティア  
**ミニカワサポーター**

**11** 人

ボランティア募集サイトActivoをつかって募集したほか、地域の繋がりなどからの参加も。「こどものまち」の活動をベースに卒業論文の執筆、卒業制作の題材にしたい大学生、地域でのボランティア経験を積みたい大学生、若手社会人などがあつまりました。

# 運営会議

## 3/1 キックオフ

まずは、前年度運営メンバーだったメンバーでキックオフ。

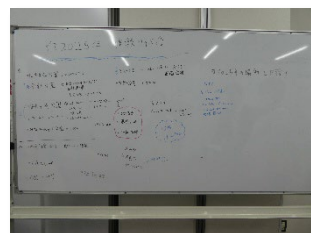
### ▼開催地の検討

昨年の開催終了後、橘公園での継続が難しいことがわかり、開催場所検討からスタート。公園利活用の観点から、川崎市役所建設緑政局に協力いただき、開催可能な公園の中から開催地の希望順を決めました。

中原区の子が多い運営メンバーからリストになかった「等々力緑地」案もあがり…おとなが交渉検討に入ります。

### ▼運営メンバー追加募集要項づくり、募集開始

前年度までのミニカワサキこどもまちづくりクラブメンバーとして活動していること、小学4年生以上、やることがちゃんとできること、意見をもっていること、が応募条件。



## 3月中の作業

### ▼開催地検討その後…

等々力緑地？中原平和公園？夢見ヶ崎動物公園？おとなが交渉検討している中で、2024年市政100周年で行われた緑化フェアをきっかけに新たにできる団体、midori-baさんとの共同開催であれば、川崎市役所1階アトリウムが使えるかも？案が浮上。いつか市役所でやるのは夢だった…！やってみたい！実現へ向けて準備スタートすることに。

### ▼運営メンバー決定

**2025年度のこども運営メンバーは15名（小学4年生～高校2年生）。**新高1、新中1になったメンバー達、新しい学校のスタートで、思っていたより学校生活が充実して忙しくなって、予定が直前に変わることもしばしば。目線が上がった高校生チームは、これまで積み上げた経験から、だんだん冒険をしなくなってきました。そこに新しい小学生チームが風穴を開けていく！という運営メンバーチームになりました。

### ▼NPO法人化へむけて

ミニカワサキの活動体は、実行委員会形式で毎年解散・組成を繰り返してきましたが、中学生になったこどもメンバーがこれからも継続していく意志をもっていること、2018年からの活動で資産（荷物も…）が増えてきたことから、NPO法人化する手続き本格化します。



## 4/20 年次総会

### ▼年次総会

2025年度のキックオフ会議。団体の総会、昨年度の振り返りと決算報告、今年度の事業計画と予算の承認。開催日、開催場所の承認。よくわかんなくて小学生眠くなる。でも、大事なことは子ども達にも説明して、一緒に決定するのがミニカワサキのスタイルです。

川崎市役所開催で準備を進めていくことに。2025年度中にNPO法人化するため、「定款」や「設立趣意書」の承認もやる特別な総会になりました。



## 4/27 運営会議

総会の日で足りずオカワリ会議。

### ▼川崎市役所の広さにあわせて検討しなおすあれこれ！

初めて開催する川崎市役所、広さは？何店舗あれば楽しいまちにできる？話してみると「川崎市役所」に行ったことがないメンバーがほとんどだったことが判明！次回みんなできてみよう！

### ▼広報・運営課題の洗い出し

これまで開催していた中原区、高津区ではなくなることで、参加者がガラッと変わりそうです。どんな影響がある？広報はどうする？課題を出しあいました。

## 5/25 運営会議

### ▼川崎市役所視察（午前）

川崎市役所に行ってきました！2024年に建て替わったばかりの新しい川崎市庁舎！展望台にも行ってみたいよ！

### ▼まちづくりクラブメンバーの募集要項決め（午後）

**今年の最大の課題は広報手段。**教育委員会の後援があっても、小中学校へのチラシの配布ができなくなります。それでも、紙のチラシの方が子ども達はみやすいよねえ。何部作成する？どうやって広報する？



## 6/15 運営会議

**▼こどもまちづくりクラブ応募チラシの内容最終調整、チラシ配布作戦会議**  
やっぱりどうしても、紙のチラシの形で配れる限りは配りたい。高校生達が手分けをして近隣の小学校へ一校一校電話をかけることに。校長先生の判断にゆだねられており、全校配布してもいいことになった学校数は今年の半分ほどになりました。

### ▼こども会議準備スタート

デザイン案を基に、こども会議の内容の検討スタート。これまでもこども会議進行はこども運営メンバーが担っていましたが、2025年度は資料をつくることから自分達で。どの順番で進行したらわかりやすい？自分達でゼロからつくるとなると、はたと分からなくなるもので。これまでの資料を丁寧に読み直す運営メンバー…！



## 7/13 運営会議

### ▼ちらし仕分け

募集チラシ2万5千枚を仕分け。2018年からやっているこの作業、枚数も少なくなったので、すごい速さで完了！

### ▼選考会議

この日まで応募のあったこどもまちづくりクラブメンバーの選考会議。ひとつひとつ、全ての応募書類に全員で目を通していきました。

### ▼協賛先の相談

当日に向けて、協賛してくださる企業やお店を探していくことに。声をかけてみたいところを子ども達がイメージで出していき、おとなを交えて交渉をスタートします。



## 8/7 運営会議

### ▼運営会議オカワリ（緊急会議）

**こどもまちづくりクラブメンバーの応募数が想定より少ない！**やっぱり小学校へ配布できない影響は甚大。どうしようか、急遽作戦会議。会議の結果を踏まえて、さまざまな市民活動団体をお願いして、チラシや、メールでの広報に奔走します…。



## 8/30 運営会議オカワリ（中高生緊急会議）

### ▼現在地確認！！

夏の間、大学のオープンキャンパスや帰省等で参加できていなかった中高生が焦りはじめる！どこまでなにを検討したんだっけ？

### ▼肝になる「こどものまち」の仕組みの見直し

核である仕事のまわし方の仕組み、通貨の価値の設定の考え方、シティ（公務員）の働き方改革、インフレ対策など。



→これ以降の運営会議は「こども会議」にあわせて行われていきます



9/1 10-12時 第1回子ども会議

▼まちってなに!?からはじまる子ども会議!  
小学生から高校生までが一緒にまちをつくっていきます。  
「まちってなに?」から意識合わせしていくために、  
第1回会議ではまちたんけんにてかけます。

子ども会議Reportは  
ホームページにも詳しく  
掲載しています→



まちたんけんについてみよう!



チームに分かれて、地図を見ながら  
まちたんけん!それぞれまちを観察  
してくるミッションと、「みんなで  
たべるおやつ」を買ってくるミッ  
ションがあります。おこづかいをもち  
らって出発!「領収書」をちゃんと  
もらってくるのもミッションです。



▼子どものまちのしくみを知ろう!  
おとな口出し禁止のまち、子どもだけの  
まち。たのしそう!だけど、安全管理  
は?困ったときはどうする?司会進行  
もすべて子どもたち。経験者である運営  
メンバーがひとつずつ説明していきます。

▼ミニカワサキでの「しごと」を知ろう!  
ミニカワサキでは仕事の種類を2つに分けて説明しています  
第1回会議でざっくり理解してもらいます。  
**公共のしごと=シティプランナー**  
まちにひつようなしごとをする人  
**民間のしごと(お店)=オーナー**  
自分のお店を持つ人

「子どものまち」ってなに?

子ども向けに「このまちのめざす、まちづくりのプログラム」を  
小学生から高校生までが一緒にまちをつくっていきます。  
「まちってなに?」から意識合わせしていくために、  
第1回会議ではまちたんけんにてかけます。

シティプランナーってなに?

シティプランナーはまちにひつような仕事をやる人のことだよ

シティプランナーのさやうは一日1000円まで  
シティプランナーのおしごとをたのびたいなら、おしごとをたのびたい

シティプランナーはお客さんからのお金をもらって、  
市民のみんなが住みたいまちをつくらせてあげよう

シティプランナーのおしごとはまちのためのおしごとです!

オーナーってなに?

オーナーは自分のお店を持つ人たちのことだよ

お店を売ってやり、  
ゲームを遊んでもらって  
たくさんのお金を稼いでみよう!

たくさんのお金を稼いでみよう!

さきはどんなおみせをたのびたいかな?

9/23 10-12時 第2回子ども会議

▼まち全体をたのしくするために!  
ミニカワサキ当日、まち全体をたのしくす  
るためのイベントや行事を出しあいました。

▼自分はミニカワサキでどんな仕事をする?  
第1回の宿題で、なにをしたいか具体的にかんがえてきて  
もらい、運営メンバーと個別に相談しながらやりたいお  
店の中身を詰めていきます。

ミニカワサキ当日のイベントについて!

ミニカワサキ当日のイベントは、  
・各種イベント ・おみせをたのびたいイベント ・おみせをたのびたいイベント  
の3種類があります!

イベントの2つを  
アゲよう!

どんなおみせをたのびたいかな?  
コンセプトやイメージ、メニュー

自分はミニカワサキでどんな仕事をしたい?

どんなお仕事をしたいか、おみせの中身を詰めていきます。

どんなお仕事か、何年生以上か、  
何人必要か、何分のお仕事か

おみせの中身を詰めていきます。



10/5 10-12時 第3回子ども会議

▼当日のお店の場所を決める!  
出店場所はけっこう大事!お客さんから見  
えやすい場所、ゆっくりくつろいでもらえ  
る場所...自分のおみせの種類にあわせて、  
どこに出店するかを考えて場所を確保!

▼「求人票」と「アルバイトさんへの説明」を考える!  
自分のお店にアルバイトを雇う!  
意外と大変なこと!なにをやってもらおう?どう説明す  
る?何人募集する?具体的に考えておきます。

当日のお店の場所!

自分の出店の場所に  
アゲよう!

アルバイト募集のポスターを書く!

アルバイトの募集ポスターには

- ・どんなお仕事か
- ・何年生以上か
- ・何人必要か
- ・何分のお仕事か

おみせの中身を詰めていきます。

アルバイトの人のマニュアルをつくらう!

アルバイトに来てくれた人に説明するための  
マニュアルを作ってあげよう!

なにをどんな風にやるのかを説明しよう!

- ・おみせの中身を詰めていきます
- ・おみせの中身を詰めていきます
- ・おみせの中身を詰めていきます

書き終わったら運営メンバーと一緒に確認してもらおう!

# なつやすみワークショップ

なつやすみの間は、中高生が部活等で忙しくなる中、小学生達は時間があります。ミニカワサキでは、なつやすみの間、おとな運営メンバー&サポーターを中心に、「こどものまち」本番を充実させるため、こどものまちの中の仕組みや、おしごとの魅力を事前に体験する事前イベントとして、なつやすみにワークショップをおこなっています。地域の企業やお店、職業人に協力いただきました。

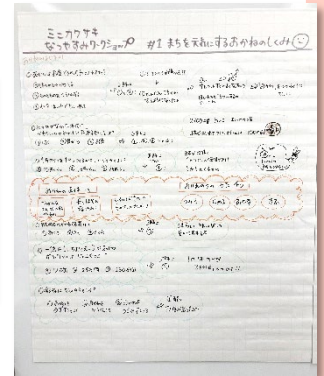
各ワークショップReportは  
ホームページにも掲載しています



## # 1 「まちを元気にするお金のしくみ」/静岡銀行川崎支店・溝ノ口支店さま

まちづくりの中でお金はどんな役割を果たしているのか？そもそもおかねってなに？やおかねの使い方にも種類があること、銀行って何するところなの？など、基本的なことを教えてもらいました。後半は、「人生のシアワセ度をあげるお金の使い方」を考えるゲーム。マイホームをどこに建てる？土地の値段、人によって大事にしたいものが違う中でどこにお金をかけるか？など、まちづくりにも直結する考え方とお金の関係を楽しみながら学びました。

(7/30開催、参加人数8名)



## # 2 「日本のおかね 世界のおかね」/キッズマネーステーションさま

為替のしくみ、世界のおかねのひみつを教えてもらいました。新しくなったお札のひみつを観察したり、いろいろな外国のお札を実際に触らせてもらいました。「こどものまち」でつかうおかねはどんなものがいいか、考えるきっかけにもなりました。

(7/30開催、参加人数11名)



## # 3 「ヒット商品開発研究所①カフェ編」/キッズマネーステーションさま

武蔵新城駅前にあるBook&CafeStand Shinjo Gekijoさんにご協力いただき、お店の中でワークショップ！実際のカフェでの商品開発のしくみ、お客さんによるこんでもらうための工夫を教えてもらいました。実際に注文して、食べてみて。自分でも欲しくなる新作クレープを提案！なんとこの日に提案したクレープは、ミニカワサキ当日前後の1週間、実際に商品化が実現！！

(7/31開催、参加人数14名)



## # 4 「やっついでよう！こどもカメラマン/ソーシャルデザインスタジオニアカリ 岡田恵利子先生

カメラマンの仕事の秘密をききながら、カメラマンの仕事体験！カメラを持って、外に出て、実際に写真を撮ってみました。素敵な写真のむこうがわにある、なにを伝えたいのか？を考えるのは初体験！撮った写真はアルバムにして見せあいました。

(7/31開催、参加人数7名)



**#5 「ヒット商品開発研究所②お菓子屋さん編」**  
**#6 「ヒット商品開発研究所③オリジナル商品編」**  
/キッズマネーステーションさま

#5では、武蔵新城の菓子工房ichieさんに出張店舗をだしていただき、お菓子屋さんの商品開発の仕組みを教えてくださいながら、「ヒット商品」を開発するにはどうしたらいいのかを考えました。この日に考えた商品は、商品化していただき、ミニカワ当日に販売されました！

(8/3開催、参加人数13名)

#6では、地域をベースに、幅広く活動されているイラストレーターサノマキコさんにご協力いただき、オリジナル商品をつくる際の「知的財産」に触れた講座を行いました。オリジナルって難しい、でもたのしい！チームメンバーのいろんな意見を取り入れながら、オリジナルこけしをつくってみました。

(8/3開催、参加人数10名)



**#7 ミニカワサキものづくり部**

色々な素材から、人にプレゼントしたり、買ってもらえるような「商品」を実際につくりました。

ここで生まれた商品は、ミニカワサキ当日、その後の中原区こども未来フェスで完売！

(8/3開催、参加人数10名)



**#8 「まちづくりゲームカタログワークショップ」**

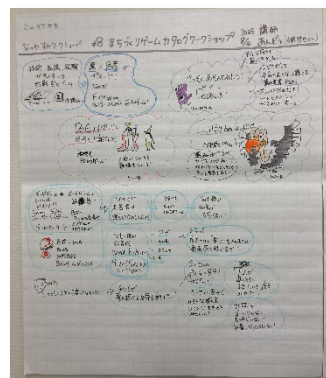
**#9 「ボードゲームであそんでみよう」/まちづくりゲームカタログ著者 安藤哲也先生**

まちづくり×ボードゲームの本を執筆した安藤さんは、ミニカワサキの立ち上げメンバーでもあります！ボードゲームであそびながら、子ども達がたのしく自然に「まちづくり」を体感できることを教えてくださいました！

(8/4開催、参加人数11名)

安藤さんが製作監修した「カワサキ景観ボードゲーム」を解説してもらいながらあそびました。

(8/4開催、参加人数13名)



**#10 「こどものまちのしくみを知ろう」**

**/川崎市役所こども未来局&ミニカワサキ運営メンバー**

実は、「こどものまち」が生まれた歴史の背景には、子どもの権利の歴史があります。「こどものまち」の歴史から、「こどものまち」をつくる視点が現代の子どもの権利とどう繋がっていくのか？を考えるワークショップを行いました。

(8/6開催、参加人数11名)





10:06:17

開催日時 **2025年10月11日(土)-12日(日)**

場所 **川崎市役所1階アトリウム**(川崎市川崎区宮本町1)

主催 **こどものまちミニカワサキ実行委員会**  
共催 **みどりの共創コミュニティmidori-ba**



## 当日のタイムスケジュール

### 1 日目🌙 **10/11** (土)

9:00 午前の部市民登録開始、学校開校  
9:30 まちびらき、JOBセンター受付開始  
9:40 オープニングアクト  
10:00 おしごとスタート  
10:50 市長選挙演説  
11:30 最終受付  
12:30 午前の部終了

12:30 午後の部市民登録受付開始  
13:00 まちびらき、JOBセンター受付開始  
13:50 市長選挙演説  
14:30 最終受付  
15:20 市長選挙結果発表  
15:30 午後の部終了

1日目登録市民数 **166**名

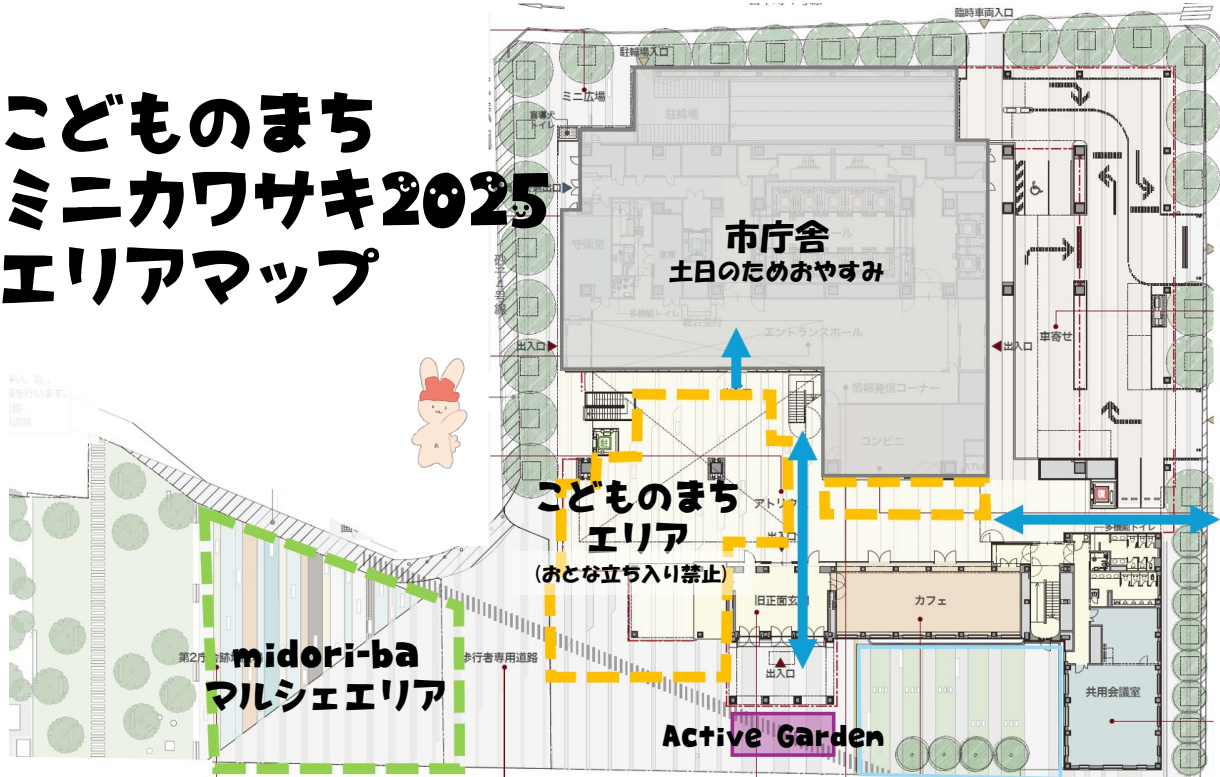
### 2 日目☀️ **10/12** (日)

9:00 午前の部市民登録開始、学校開校  
9:30 まちびらき、JOBセンター受付開始  
10:00 おしごとスタート  
10:50 市長イベント  
11:30 最終受付  
12:30 午前の部終了

12:30 午後の部市民登録受付開始  
13:00 まちびらき、JOBセンター受付開始  
13:50 市長イベント  
14:30 最終受付  
15:20 クロージングセレモニー  
15:30 午後の部終了

2日目登録市民数 **250**名

# こどものまち ミニカワサキ2025 エリアマップ



## ▼midori-baマルシェと共同開催！

「Enjoy Greening! -こころとまちにみどりを-」を掲げ、川崎市市制100周年を契機に生まれたみどりの共創コミュニティ「midori-ba」との共催。子ども達が「こどものまち」を楽しんでいる間、おとなは「midori-baマルシェ」でのんびり楽しんでもらうことを目指しました。ワークショップやキッチンカーで、市役所前広場のにぎわいを生み出す実験にもなりました。

midori-baHPIはこちらから ➡



## ▼川崎市建設緑政局によるActive Garden

川崎市市制100周年を記念して行われた緑化フェアのとどろき会場で展示されていた「Active Garden」が設置され、コラボ企画として来場者がたちよれる場所になりました。こどものまちが、他の企画とともに共同開催されることで、互いにとっての「関係人口」が増えることに繋がることの実証されました。

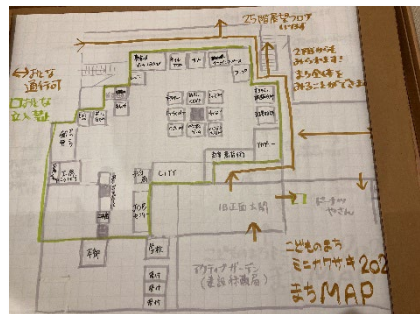


## ▼レイアウトは当日の様子でどんどん変わる！

### Amazon川崎FC様から提供 ダンボールタウン！

高津区に事業所のあるAmazon川崎フルフィルメントセンター(FC)より、360枚ものダンボールを提供いただき、まちの骨格をつくっていきました。1日目は雨模様だったため、屋根下にすべてが入るようにレイアウト。

2日目は晴れたので、屋外までまちが広がりました。子ども達自身のアイデアでどんどん変えられる夢のまちが実現したのでした！



## ▼なかはらミュージカルさんによるオープニングアクト

オープニングアクトをおねがいしました。3月に行われるミュージカルの歌とダンスで盛り上げてくださいました♪

動画でもご覧になれます！なかはらミュージカルさんのYoutubeへ→



## ▼市長選挙

川崎区役所にご協力いただき、本物の投票台、投票箱、投票用紙をつかって「ミニカワサキ市長」の市長選挙を行いました。

**選挙の結果、第6代すずか市長が爆誕！**

ミニカワサキ市長は、ミニカワサキの魅力を発信するのが仕事！2日は全員参加の市長イベント、取材対応も行いました。



## ▼出店したおみせ

出店したお店数 **28** 店舗 起業したお店数 **7** 店舗

### ■公共

- ・学校
- ・銀行、造幣局、税務署
- ・JOBセンター
- ・起業相談所
- ・ラジオ局(放送局)
- ・交番
- ・市役所
- 運輸局、清掃局、観光局、選挙管理委員会
- シティプロモーション(イベント)
- ・アカデミー
- ・工房
- ・工務店
- ・図書館

### ■オーナー店舗

- ・とばくや
- ・ぼーるあてや
- ・わなげや
- ・レジンや
- ・東海道むかしあそび
- ・ミニカワカフェ
- ・ネイルサロン
- ・スープ屋さん
- ・すききらい調査研究所
- ・しゃてきや
- ・わなげ
- ・くじびきや
- ・ピンポンゲーム
- ・くじびきや
- ・たからさがしや
- ・手形アート
- ・ぬりえ屋

### ■起業したお店

- ・なぞなぞやさん
  - ・つりゲーム・水族館
  - ・パチンコ屋
  - ・輪ゴムアクセサリー屋さん
  - ・ミサンガ
  - ・すごろく
  - ・子どもの権利クイズ屋さん
- (中原区こども会議たんぼぼちゃ)



東海道かわさき宿ふれあい館  
しゃしんかん☆モデルのおしごと！



ラジオ放送局はホンモノ！  
FMラジオからきこえます



わなげやさん アルバイトも  
お客も両方さちやって忙しい！



景品もひとつひとつ  
でいい！つくってあります！



水族館！  
アイデアがすごい！！



手形アートは大人気！



せんでんのおしごとが  
まちをにぎわせてくれます

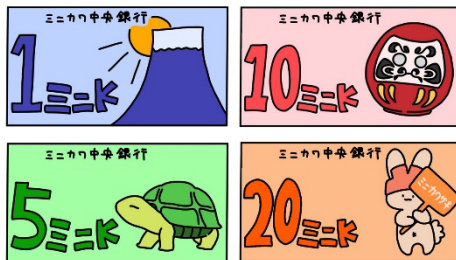


スープ屋さんは  
2日も完売でした

## ▼基本のお金しくみ

ミニカワサキの通貨は「ミニK（ミニケー）」

- ◆ **市民登録祝い金：25ミニK**  
こどものまちに入ってまず買物ができるように、最初に市民登録祝い金がもらえる
- ◆ **ちびっこ補助金：20ミニK**  
未就学の子は、おしごとが難しい場合もあるので、補助金が支払われる
- ◆ **アルバイトの働く時間の単位：20分22ミニK**  
給与をもらう時に**税金 2 ミニK**をおさめる



ミニカワサキ2025の通貨は4種類通貨をつくるのが楽しいので毎年デザインを変えてつくっている

## ▼市民登録でもらえる市民証

市民登録をすると市民証がもらえる。

市民証の裏面に「おしごときろく」になっていて、仕事をもらうとき、ぎんこうでお金をもらうとき、チェックしてもらう。

見開き面には「ものづくりきろく」や「アカデミーのきろく」がある。工房でやるものづくりは、製作したものの1コあたりを工房主に買い取ってもらうしくみ。アカデミーは、講義を聞くことがおしごとになり、きゅうりょうがもらえる。

今年初めて「預金(よきん)」ができるように！  
来年もミニカワサキであそぶ子は、帰りにぎんこうにお金を預けて帰ることができる。



## ▼自分のお店を出店する

自分のお店を持つ「オーナー」は[売り上げたお金ー借金ーオーナー税=自分のお金]になる。

### ◆借金の中身

- 材料・景品用駄菓子仕入れ費用：事前にオーダーを受けて  
運営メンバーが本物の問屋さんに仕入れにいき、  
**1ミニK=20円**のレートでオーナーに卸す。  
※駄菓子以外の材料は2日間の開催用の材料/1人2,000円までが基準。  
飲食店など材料費がかかる場合は全体予算見合いで要相談
- 出店税：**800ミニK**
- お釣り用ミニK：**55ミニK**  
(金種 10ミニK2枚、5ミニK4枚、1ミニK10枚)

### ◆オーナー税とは

- 店員税：お店の店員の人数×70ミニK
- 場所税：1店舗20ミニK
- うりあげ税：うりあげ100ミニKにつき30ミニK



# ミニカワサキ2025のチャレンジ

## なつやすみワークショップスピンアウト！リアルなまちと繋がる！

菓子工房ichieブースでは、なつやすみワークショップで子どもたちが考えたお菓子をミニカワサキへの寄付付きとして販売いただきました。

武蔵新城駅前Books&Cafestand Shinjo Gekijoでも、「ミニカワ帰りに食べたいクレープ」が限定発売されました



## 子どもによるおとなツアーの開催！

これまでのこどものまちでは、見学を希望するおとなの案内はおとながやっていたが、今年は、「こどものまちの概要をおとなが、まちのツアーは高校生が担当。子ども自身の言葉でおとなを案内するおとなツアーが実現しました。

参加者1日目 **20**名、2日目 **26**名、**8**回開催



## 仕事を学ぼう！「アカデミー」を新設！

こどものまちの中に、「勉強をすること」がおしごとになるブースを新設。ほんとおしごとしているおとなから、「仕事」についてクイズやゲームを交えながら教えてもらいました。



1日目

- 11時— Amazonさま
- 12時— 味の素さま
- 13時— 東海道かわさき宿さま
- 14時— Amazonさま
- 15時— AIVICKさま

2日目

- 10時— 学習教室ラセンさま
- 11時— 静岡銀行さま
- 12時— AIVICKさま
- 14時— 静岡銀行さま
- 15時— AIVICKさま

## 実際のまちに近づく「おとな」ブースを新設

協賛企業や協力団体による「おとな」ブースを新設。おとな口出し禁止の「こどものまち」の理念をしっかりと伝えした上で、おとなとして子ども達に体験してみたいことや、子ども達に聞いてみたいことのアンケートを取るなど、新しい試みにチャレンジ！また、協賛いただいた企業の物品を提供するお店（スープ屋さん/味の素株式会社川崎事業者様）も初めて登場し、おとなが運営しました。「こどものまち」の可能性を模索しています。



株式会社AIVICKさま



東海道かわさき宿  
ふれあい館さま

## リアルFMラジオ放送！（技術提供：BHNテレコム支援協議会様）



昨年からのチャレンジ「ラジオ局」を今年も実施！防災ラジオのしくみを使ったラジオ放送を配信しました。こどものまちのとりくみについてのAIがラジオ番組風に解説するコーナーも盛り上がりしました。



AIがつくったラジオ番組の視聴はこちらからできます👉



## 川崎区SDC 地域活動助成金の活用

川崎区内の、外国にゆかりのある子ども達や、支援の必要な家庭の子ども達などが遊びに来やすくなるように、「川崎区SDC地域活動助成金」を活用して、無料の招待券を作成しました。配付は、川崎区役所地域包括支援センター／地域ケア推進課や、ふれあい館、多文化共生プラザなどにご協力いただきました。参加者にはつながりませんが、運営者の方々などとのコミュニケーションのきっかけとなりました。次年度以降に活かしていきます。





# ミニカワサキ2025をふりかえる～アンケート結果

11/9 14-16時 第4回こども会議

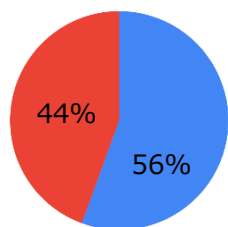
## ▼ふりかえり・修了式

ミニカワサキ当日から約1カ月、ふりかえりと修了式を行いました。  
こどもまちづくりクラブメンバーは修了証がもらえます♪  
ひとりずつ、参加した感想をスピーチしました。来年、またやろうね!!



## ▼こどもまちづくりクラブに参加してみたの感想

大満足44%  
満足 56%



- とっても楽しかった!
- アルバイト希望が多くて指示を出すのが大変だった
- 思ったよりおきゃくさんがなくて景品があまったけど楽しかった
- 1日目に売り切れて、帰ってから追加をつくった。売れそうなデザインがわかったのでつくって楽しかった
- 去年も参加してなれてきたので、今年はほかの子のお手伝いもできた
- 来年もやってみよう。今年はおみせやさんで、お客さんを呼ぶのは大変だった。来年はシティブランナーをやりたい

## ▼こどもまちづくりクラブ保護者の感想

- 今年も参加でき、貴重な経験ができたことをありがたく思っています
- 学校でチラシが配られなかったのも、イベントの存在自体を知らせることができなかったのは残念でした。学校前の看板にポスターを貼るなどができるといいです
- 当日の動きがもう少し事前に分かるとありがたいです
- 会議に参加した後はやる気に満ちていて、「早く本番になってほしい!」と何度も口にしていました

## ▼まちづくりクラブメンバー参加者分布

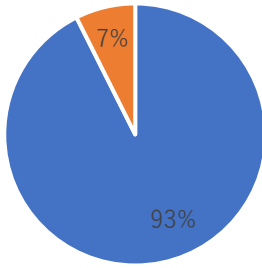
	運営メンバー	まちづくりクラブメンバー	小計
小学2年生		1	1
小学3年生		5	5
小学4年生	3	5	8
小学5年生	1		1
小学6年生	1	6	7
中学1年生	3		3
中学2年生	1		1
中学3年生	1		1
高校1年生	3		3
高校2年生	2		2
合計	15	17	32



まちづくりクラブメンバーは小学校低学年～中学年でスタートする子が多いです。その後運営メンバーへチャレンジした子は、視点が変わり、運営目線で中学生、高校生まで続けていくことが多くなっています。

### ▼ミニカワサキ当日の参加者アンケート（54回答）

楽しかった 93%  
まあまあ 7%

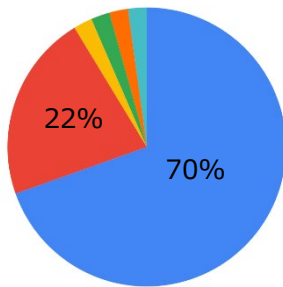


#### 自由回答

- みんな同年代だから話しかけやすいし、やさしかったから過ごしやすかった
- おとながはいれず、じぶんでできるところがよかった
- おとながなにをしているのかわかった
- 自分でつくれる工房がたのしかった
- 自分で仕事をして自由にお金を使えるところがたのしかった
- 本当のまちをれんそうさせるようなイベントでたのしい
- お金がなくてあそべない
- 友達とはぐれた
- 楽しかったけど店が少ない。値段が高い

### ▼保護者向け「市場調査（アンケート屋さん）」参加者アンケート（46回答）

大変満足 70%  
満足 22%  
つまらない  
ふつつ  
不満足  
その他 各2%



#### 自由回答

- 他にも大人不参加型の企画にもっと参加したいというようになった
- 働いてもらったお金で、自分の好きなものを買うという体験がとても楽しそうでした
- 簡単な会計であれば1人で支払う様になった
- 帰ってから、起業したお店を発展させて次やる時はどうすればいいか考えたり、親に相談したりしていました
- 大人が関わる事をしない。のが基本なため、子供は初めの頃は何をどうしていいかわからず、15分くらいはうろうろと歩き回るだけだった。声をかけてあげたくなったか、ぐっと我慢して見守っていたが、自分から話をききにいった、仕事を探す事ができた。今までは、子供が不安にならないよう、スムーズに事が進む様にと声かけをしていたけど、自分でどうにかしようとする能力を奪っていたんだと、感じた。小学生になれば、親は見守ることが大事だなと、改めて気づく事が出来たと思う。子供は親が思うより、1人でも解決できる能力があると感じた。親にとっても、子供にとっても成長できた集まりになったと思う
- 時間の無駄だった～と言ってる子もいましたが、お店の価格自体が高く、コンスタントに働かないと十分に遊べない価格設定と時間制限の中でゲームに拘束され上記のような事になるなら、時間の無駄だったと言うのも仕方ないかなと思いました
- 受付開始が9時のはずだったが30分近く待ち、結局9:30ころになってしまった。行列も長く、大人の数を増やして受付はスムーズにしてほしいと思う
- お店によってはサポートが弱いところもあったようで、仕事についてみたものの、何をしたらいいのか教えてもらえずお客さんが来ても何をどのように対応すればよいかわからず困ったと言っていた

### 当日参加者分布（2日間合計、市民登録者資料から集計）

学年	人数
未就学児	26
小学1年生	48
小学2年生	87
小学3年生	66
小学4年生	48
小学5年生	38
小学6年生	16
中学生	8
不明・回答なし	2

所属小学校の場所	人数
川崎区	43
幸区	66
中原区	84
高津区	50
その他川崎市内	18
私立学校	3
横浜市	6
その他（東京都・大和市）	2
不明・回答なし	2

市民登録は圧倒的に小学生が多く、小学2-3年生がコア層であることがわかります。開催地に近い川崎区、幸区への広報は引き続き課題です。同日に多数のイベントが開催されている時期でもあるため、早めの広報も次年度検討していきます。



わたしたちは川崎市内で2018年から「こどものまちミニカワサキ」を開催してきました。

おとなの「やってみたい！」だけではじまった活動が、コロナ禍で、イベントとしての「こどものまち」を開催できなくなった2020年、2021年をきっかけに、子ども達が運営に関わるようになってきました。おとなが「やってみたい！」ではじめたこのプログラムは、年1回イベントとしての「こどものまち」を開催するだけではなく、年間を通して「まちづくり」や「働くということ」を考えるコミュニティになっていきました。

2025年、8年目の「こどものまちミニカワサキ」は夢だった川崎市役所での開催が実現しました。そしてこの年、ほんとうに子どもだけで2日間の運営をやり遂げました。おとなにはインカムも持たせてもらえず(!)受付のお手伝いをしただけだったのです。とうとう、ほんとうに「子どもだけのこどものまち」が実現したのです。

「おとな口出し禁止」で、子ども達を信じ、見守るのは簡単なことではありません。ひとりひとり度合いや間合いが違い、とても難しい。でも、「信じる、見守る」構えをみせるだけで、子ども達がメキメキと変わっていくのを目の当たりにしてきました。そして子ども達自身、もともとそんなパーソナリティだったというだけでは説明がつかないくらい、学校で、習い事で、自ら作り出す活動で、チャレンジをするようになっていきました。「こどものまち」での経験が、進路選択にも影響するようになってきました。

きっと、「こどものまち」には大きな可能性があります。この先も継続して活動していきたいという想いがかたまり、NPO法人化することにしました。任意団体「こどものまちミニカワサキ実行委員会」としてのこどものまちの実施としては2025年が最後の年となります。

2025年12月7日、NPO法人ミニカワサキの理事会を開催。このメンバーでキックオフ。これまでの実績、試行してきたいろいろな取り組みや繋がりを活かして、2026年度はどうなる！？どうする！！？？中高生が理事の半分という私たち。子ども達の声をまちづくりに活かしていく活動に繋がっていきたいと思います。NPO法人となるミニカワサキのこれからをおたのしみに！！



## 活動計算書

2025年8月13日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人ミニカワサキ

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	57,000	
賛助会員受取会費	85,000	142,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	462,380	462,380
3. 受取助成金等		
受取助成金	10,000	10,000
4. 事業収益		
こどものまち事業収益		243,609
ワークショップ事業収益		108,900
研究開発事業収益		175,000
5. その他収益		
受取利息	315	
雑収益	360	675
経常収益計		1,142,564
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
ボランティア評価費用	114,000	
謝金	41,000	
印刷製本費	64,433	
会議費	13,695	
交際費	2,700	
旅費交通費	91,778	
通信運搬費	17,390	
消耗品費	96,654	
賃借料	129,298	
保険料	23,520	
研修費	5,000	
その他経費計	599,468	
事業費計		599,468
2. 管理費		
(1) 人件費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	28,300	
処理費交通費	400	
通信運搬費	3,334	
消耗品費	6,018	
賃借料	1,600	
租税公課	2,048	
支払手数料	440	
雑費	7,000	
その他経費計	49,140	
管理費計		49,140
経常費用計		648,608
当期経常増減額		493,956
税引前当期正味財産増減額		493,956
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		493,956
前期繰越正味財産額		0
次期繰越正味財産額		493,956

注記: 2025年4月1日から8月12日まで、任意団体「こどものまちミニカワサキ実行委員会」として運営していた分、342,380円を財産移転(項目:受取寄附金として記載)しています。

# Special Thanks! Team Minikawa2025!

後援	川崎市教育委員会
協力	川崎市建設緑政局グリーンコミュニティ推進室、川崎区役所、東海道かわさき宿交流館、BHNテレコム支援協議会、公益財団法人かわさき市民活動センター 菓子工房ichie、イラストレーターサノマキコ、なかはらミュージカル実行委員会、中原区地域教育会議こども会議たんぼぼちゃ、他の皆様
企業協賛	静岡銀行川崎支店・溝ノ口支店、味の素川崎事業所、Amazon川崎FC、AIVICK、学習教室ラセン、パルスシステム神奈川ゆめコープ
広報協力	いいんだよHOME、まきまきキッチン、Team NETSUGENのみなさま

## こどものまちミニカワサキ2025メンバー

### ▼こども運営メンバー

ゆうき、そら、なごみ、ゆり、たいよう、みーみ、  
ふさのすけ、ゆさ、ほのか、えみり、ひなこ、きんのすけ、  
はな、すずか、あおい

### ▼こどもまちづくりクラブメンバー

あいか、このみ、あかり、みはる、ひかり、ゆいこ、ゆか、  
しゅり、さえ、りくと、さな、ほのか、ななみ、はるか、  
はな、あかり、ともか

### ▼サポーター

おにちゃん、うんちゃん、ゆきな、さきの、すず、ともえ、  
ちさき、ゆうしゅん、あみ、ともや、なお  
日本女子大学社会連携科目受講生のみなさま  
Amazon川崎FCスタッフのみなさま  
青山学院大学stadtミニミュンヘン愛好会のみなさま  
神奈川大学ボランティアのみなさま  
ミニいちかわスタッフのみなさま  
川崎市役所、川崎区役所のみなさま  
2024年サポーター たるたる、みかえ  
まちづくりクラブメンバー 保護者のみなさま

その他、各地のこどものまちのみなさんには  
様々な場面で勇気づけていただきました。  
この場を借りてお礼申し上げます。  
今後ともどうぞよろしくお願いいたします!

### おとな運営メンバー▼

えりっこ/大城英理子(ファウンダー、代表)  
ひっしー/菱倉英一(副代表)  
よっしー/袖山佳(会計)  
いっちー/市村あつ子  
まきまき/安西卷子  
とっしー/飯沢俊彦



ピョン・K古  
Design by Nagomi

### こどものまちミニカワサキ2025報告書

発行:NPO法人ミニカワサキ  
発行日:2026年3月31日  
発行責任者:大城英理子

またやろう！



発行日:2026年3月31日  
発行:NPO法人ミニカワサキ  
E-mail:minicity.kawasaki@gmail.com  
Web :<https://www.minikawasaki.info/>

本書からの転写、転載、複製を希望される場合はご一報ください。